

# 市長から 市民のみなさんへ



山陽小野田市長 白井 博文

## 18 「市民ふれあいの集い」と「広報紙への広告掲載」 について

### 3月21日(祝) 合併1周年記念行事 「市民ふれあいの集い」を開催します

前ページにありますように、先日よりお話ししてきました合併1周年記念行事「市民ふれあいの集い」を3月21日(祝)に文化会館で開催することが正式に決定しました。詳細なプログラムについては3月1日号の広報でお知らせしますが、現時点では、この度決定しました市章をデザインした市旗の披露などのセレモニーの後、本市出身のバリトン歌手のステージで祝賀気分を盛り上げていただき、文化の香りの高まる会場から一歩外に出れば山陽小野田市の特産品のテントが建ち並んでいるといった、心も体(=お腹)も満足できるような企画となっています。

来年度の予算編成作業が大詰めを迎えた今、楽観視しているわけではありませんが、このイベントが開催されるころには、たとえ長く暗いトンネルの中を走ることになるうとも、遠くに見える出口の明かりまでの距離は確認できるようになっているはずと希望しているところです。そういった意味でも「市民ふれあいの集い」は決意新たに難局に立ち向かっていく、その第一歩を踏み出す「門出の日」とも言えるかもしれません。

どんちゃん騒ぎのお祭りとはいきませんが、市民のみなさんが山陽小野田市民であることの一体感と誇りを感じ、喜びをかみしめあうことができるような一日になることを期待します。お子さんからお年寄りまでご家族みなさんで、是非、お越しいただければと思います。

### 行財政改革第1号

#### ～広報紙への広告掲載がはじまりました～

今回の広報紙から「情報ひろば」のコーナーに広告掲載欄を設けることにしました。これは、市役所内に設置した「行財政改革推進本部」が取り組んできた改革の成果が目に見える形で現

れた最初のもので、言わば「行財政改革第1号」となるものです。

厳しい財政状況を乗り切るための方策を単純化するならば、今回の試みのように歳入を増やす一方で、歳出を抑制することが必要です。歳出面で大ナタをふるい、抑制、削減していかなければ財政再建への道はありえないわけですが、実現に向けては様々な調整事項が生じ、時間を要するという実情があります。一方で、歳入についてはアイデアさえ浮かべば、その後は比較的取り組みやすい事項も多く、今回の広告掲載のように、従来の行政のやり方では考えられないような短期間で準備作業をすすめ、実施にこぎつけることも可能となるのです。

しかし、億の単位で財政を建て直さなければならない実情を考えたとき、広告で得られる収入でどれほどの穴埋めができるかと問われれば確かにそのとおりかもしれませんが、こういった細かい部分にまで苦勞して財源を確保していく姿勢は、歳出面で、すなわちお金を使う立場に回ったとき、今まで以上に金銭感覚に敏感になり、職員の意識改革を推し進めていく上で、お金には換算できない大きな効果をもたらしてくれるはずです。また、手前味噌かもしれませんが、市役所の「改革へのやる気」を市民のみなさんにアピールできたという点も大きいのではとも自負しています。

現在、他にも机上にあがっている改革案があります。その一つひとつについて、すぐに取り掛かれるものか、時間をかけて取り組むべきものかを精査し、3月には財政再建策とともに、そのメニューをお知らせするつもりです。また、それで終わりではなく、その後も、更に更に改革を進め、効果が見込めると判断できるアイデアなら、斬新なものであるうが、前例がないものであるうが、その実現に向けてつきすすんでいく決意です。

広報紙への広告掲載は、山陽小野田市役所の大いなるチャレンジのはじまりにすぎないのです。これから2号、3号と続々と改革の手を打っていくつもりです。

### 2・3月の 市政説明会

2月12日(日) 厚陽公民館  
2月26日(日) 小野田公民館  
3月12日(日) 出合公民館  
※19:00から 1時間30分程度です

### 2・3月の 対話の日

2月23日(木) 赤崎福祉会館  
3月23日(木) 不動寺原公会堂  
※19:00から 1時間30分程度です